

草内地区認定こども園地元説明会議事録(要旨)

日時	令和8年2月1日(日)午後2時~4時
場所	中央公民館3・4研修室
出席者	事業者：社会福祉法人美樹和会 藤原理事長、関谷副理事長 (株) モーダアーキテクツ 村田建築士 京田辺市：河本こども未来部長、内野副部長、 藤田保育幼稚園課長、釘本主幹、籟生係長
参加者	31名

1 あいさつ

河本こども未来部長からあいさつ

2 出席者紹介

藤田保育幼稚園課長から出席者紹介

3 草内地区認定こども園について

当日配布資料に基づき事業者から説明

4 主なご意見と回答

(1) 生活環境への影響について

Q1. 住宅地の中に建設されることで、今後の生活環境への影響が心配です。園庭の位置、防音フェンスの有無、建物配置の考え方など、近隣への影響を軽減するための対策を教えてください。

A1. 園児の動線や周辺への圧迫感などを踏まえ、北側に建物を寄せ、南側に園庭を確保する計画です。

防音フェンス等については、今後の検討課題の一つと考えています。

Q2. 園児の屋外活動の時間帯や音への配慮について教えてください。

A2. 美樹和会が現在運営している園では、おおむね午前9時から正午頃まで、夕方は午後4時から5時30分頃までを目安に園庭を使用しています。

全園児が同時に園庭を使用するわけではなく、保育内容に応じて使い方を工夫しています。

この地域の状況を見ながら、園庭の使い方や保育の工夫を検討していきます。

Q 3. 建物の高さはどの程度になりますか。

A 3. 最も高いところで 9.7 メートルを想定しています。

(2) 工事車両や粉じん対策について

Q 4. 騒音や振動、工事車両の出入りの制限などは、どこに相談すればよいのでしょうか。

A 4. 基本的には事業者にご要望をいただくこととなりますが、市としても必要に応じて連携しながら対応していきます。

(3) 施設整備の考え方について

Q 5. この場所が選ばれた経緯を説明してください。

A 5. 当初は、草内保育所と草内幼稚園を活用しながら再編する計画でしたが、草内保育所の一部園舎に耐震上の課題がありました。

また、保育ニーズの高まりを受け、0 歳から 5 歳までを一体的に受け入れる認定こども園として整備する必要があると判断しました。

そのため、市街化区域内で一定規模の敷地を探した結果、現在地となったものです。

Q 6. なぜ住宅地の中にこども園を整備することになったのでしょうか。

A 6. 草内幼稚園周辺は市街化調整区域に位置しており、こども園としての建て替えが難しい状況です。

そのため、市街化区域内で一定規模の敷地を確保できる場所として、現在地となりました。

Q 7. 草内保育所や草内幼稚園はどうなるのでしょうか。新しいこども園に統合されるのか、現在の施設も残るのか教えてください。

A 7. こども園の整備は、既存の草内保育所と草内幼稚園を統合する形で進めるものです。

草内保育所は令和 8 年度末まで、草内幼稚園は令和 10 年度末まで運営し、その後、新しいこども園へ移行していく予定です。

(4) 交通安全対策について

Q 8. 入口が交差点に面していますが、事故が多い印象があります。横断歩道など、何らかの安全対策を考えた方がよいのではないのでしょうか。

A 8. 入口周辺の安全対策については、ご意見を踏まえ、改めて検討します。

Q 9. 行事の際に車が集中し、周辺に影響が出るのではないのでしょうか。

A 9. 行事の際には、保護者に徒歩や公共交通機関の利用をお願いすることを基本としています。

また、時間帯を分けるなど、一度に人が集中しないよう工夫していきます。

必要に応じて個別に注意するなどの対応も行っていきたいと考えています。

送迎や出入りのルール、通行経路については、今後、地域の道路状況も見ながら整理し、周知していく必要があると考えています。

Q 10. 駐車場の出入口は交通量の多い場所に面しており、安全面より利便性を優先した計画ではないかという懸念があります。地域住民への配慮が十分ではないのではないのでしょうか。計画を見直す考えはないのでしょうか。

A 10. 現時点では、この計画に基づいて建築確認等の手続を進めています。

交通安全や騒音、工事中の課題等については、今後も丁寧に対応していきます。

Q 11. 以前の造成工事の際、通学時間帯にダンプが通行しており、非常に危険だと感じました。今回の工事でも同じようなことが起こるのではないかと心配しています。通学時間帯の通行や安全対策について、どのように考えているのでしょうか。

A 11. 造成工事の際、通学時間帯に工事車両が走行していた件は認識しています。

今後の工事については、事業者に安全確保を求めるとともに、市としても必要な対応をしていきます。

Q 12. 危険箇所や交通量、騒音などへの懸念が解消されないまま計画が進むことに強い不安があります。今後、具体的にどのように検討するのか教えてください。

A 12. 皆様からいただいたご意見を踏まえ、危険箇所や出入口のあり方などについて改めて検討していきます。

(5) 運営体制や安全面について

Q 1 3. 205 名規模の施設とのことですが、法人として 200 名を超える規模の施設を運営した実績はありますか。

A 1 3. みぎわ保育園が定員 175 名で、現在のところ最大規模の施設です。

Q 1 4. 人材育成のために大学等と連携する考えはありますか。

A 1 4. これまでも実習生の受入れ等を通じて連携してきました。

今後は採用面も含め、さらに近隣の大学等と連携を進めていきたいと考えています。

Q 1 5. 火災などが起こった場合に園児が安全に避難できるのか、対策を教えてください。

A 1 5. 避難訓練は月 1 回実施しており、地震や火災を想定した訓練を行っています。

各園では、おおむね数分程度で安全な場所へ避難できる体制を整えています。

また、建物については、建築基準法に基づき 2 方向避難を確保する設計としており、防火仕様により延焼や煙の拡大を抑え、避難時間を確保しながら速やかに安全な場所へ避難できるようにしていきます。

Q 1 6. 災害時の備蓄について、園児・職員だけでなく、近隣住民が避難してきた場合の対応も考えているのでしょうか。

A 1 6. 園児と職員の安全確保を最優先としますが、近隣住民が避難してきた場合には、状況に応じて受入れや備蓄の活用を検討していきます。

Q 1 7. 開園後に騒音や交通面で問題が生じた場合、どこに相談すればよいのでしょうか。

A 1 7. 基本的には事業者にご相談いただくこととなりますが、市としても必要に応じて連携しながら対応していきます。

(6) 計画の進め方について

Q 1 8. 住民との協議が十分でないまま、計画が固まってから示されていることに不安があります。これまでの説明も十分ではなかったのではないのでしょうか。進め方として適切だったのか疑問に感じています。

A 1 8. 情報提供の時期や方法について、十分でなかった面があったと受け止めています。

その点については真摯に受け止め、今後の対応に生かしていきます。

ただし、市として決定した計画であるため、現時点で白紙に戻すことは考えていません。

今後は、必要な情報提供や対応を重ねながら、できる限りご理解をいただけるよう努めていきます。

Q 1 9. これまでの進め方や今回の説明内容から、住民として不安や不信感を持っているという意見が複数ありました。安全対策や情報提供について、より丁寧な対応を求めます。

A 1 9. これまでの進め方について様々なご意見をいただいたことを重く受け止めています。

今後は必要な情報をできるだけお示ししながら、工事や開園に向けて丁寧に対応していきます。